

(お知らせ)



平成30年11月22日
ワールド・モニュメント財団
(公財)四條町大船鉾保存会
(特非)京町家再生研究会
(公財)京都市景観・まちづくりセンター
(TEL 354-8701)
京都市都市計画局
(担当:まち再生・創造推進室)
(TEL 222-3503)

四條町大船鉾会所改修プロジェクト ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞の最優秀賞受賞について

この度、ワールド・モニュメント財団、公益財団法人四條町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会及び公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターが行った四條町大船鉾会所改修プロジェクトが、本年のユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が実施する「アジア太平洋文化遺産保全賞（UNESCO Asia-Pacific Heritage Awards for Cultural Heritage Conservation）」（※1）において、**最優秀賞を受賞**しました（※2）ので、下記のとおりお知らせします。

※1 民間部門及び官民共同の取組によるアジア太平洋地域における遺産としての価値を持つ建造物、場所及び資産の保全又は修復の優れた成果について表彰するもの。過去の最優秀賞は、「藍屋（ブルーハウス）」建築群（2017年、香港）など

※2 最優秀賞の国内初受賞は、^{すくなひこ}少名彦神社参籠殿（2016年、愛媛県大洲市）

記

1 発表者 ユネスコ バンコク事務所

2 受賞したプロジェクトの概要

(1) 事業名 四條町大船鉾会所改修プロジェクト

(2) 文化遺産名称 四條町大船鉾会所

(3) 事業主体 ワールド・モニュメント財団

公益財団法人四條町大船鉾保存会

特定非営利活動法人京町家再生研究会

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

(4) その他 「アジア太平洋文化遺産保全賞」は、民間部門及び官民共同の取組によるアジア太平洋地域において遺産としての価値を持つ建造物、場所及び資産の保全又は修復の優れた成果について表彰するものであり、今回は8ヶ国・41件の応募があった中から最優秀賞を受賞しました。

3 受賞理由（ユネスコの講評概略）

この20世紀初頭に建てられた京町家の再生プロジェクトは、危機に瀕する木造建築群「京町家」の保全と京都の歴史を象徴する祇園祭の継承に関わるものである。細部に至るまで修復された建物は、150年ぶりに復興し巡行に参加した四条町大船鉾の伝統行事の中心となる場所、「会所」として再生された。入念な考証と的確な保存技術により、このプロジェクトは実行された。住宅であった町家は、町内の会所としての機能・役割を持った歴史的な建物として再生された。町家再生に関わる専門家組織と技術者の協働による修復は、伝統的建築における革新的な取組といえる。このプロジェクトは、無形文化遺産である祇園祭とその拠点である会所を一体として保全・継承をしていくという模範例を示している。

4 参 考

四条町大船鉾会所改修プロジェクトの経過

京都の伝統的木造都市住宅「京町家群」の保護・保存を目的とした「京町家再生プロジェクト」の第3期の取組（※）として、四条町大船鉾会所を対象に、フリーマン財団（米国）の協力を得たワールド・モニュメント財団（米国）から総額28万2千ドルの支援を受けました。平成29年4月に改修工事が完成後、竣工記念式典を開催し、所有者の公益財団法人四条町大船鉾保存会が祇園祭の会所として活用しています。

※ これまでに、釜座町町家（第1期）及び旧村西家住宅（第2期）の修復を実施しています。

四条町大船鉾会所の概要

所在地	京都市下京区四条町355番地
所有者	公益財団法人四条町大船鉾保存会
指定等	景観重要建造物
建築年	昭和8年（口伝）
敷地面積	210㎡
建築面積	149㎡



四条町大船鉾会所 外観